

なつやすみの美術館11 MOMAW Summer Museum Project #11

野田裕示「集まる庭」 2021.7.17sat.-9.26sun.

開館時間：9:30-17:00 (入館は16:30まで)

野田裕示作品と収蔵作品のコラボレーション Noda Hiroji 'Gathering Garden'



1. 野田裕示《WORK 1666》2006 (平成30)年 アクリル、綿布、カンヴァス
227.3×162.1cm 個人蔵

プレス向け解説会のご案内

2021年7月16日(金) 13時30分から

プレス関係者を対象に解説会を実施いたします。ぜひ、この機会を利用して取材していただき、「コレクション展 2021-夏 なつやすみの美術館11」の魅力を発信していただきますようお願い申し上げます。

御坊市で1952（昭和27）年に生まれた画家・野田裕示^{の だ ひろ じ}さんは、絵画のあり方をテーマに、制作を続けています。多摩美術大学で学び、1977（昭和52）年に東京の南画廊で初めての個展を開いて以来、多くの展覧会で発表を続けてきた野田さんの作品は、絵画はどうしたら絵画になるのかと問いかけてくるようです。

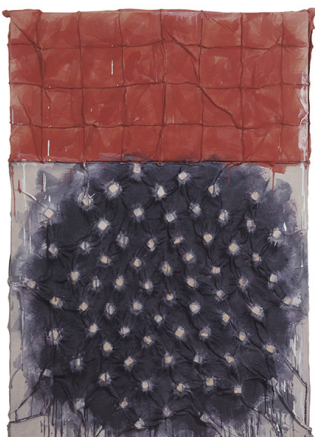
この展覧会では、そんな野田さんの作品を、野田さんが出会ったり、特に関心を持ったりした芸術家の作品と並べて展示します。野田さんを通して、美術館のコレクションが集まり、新たに出会う庭となります。

^{の だ ひろ じ} 野田裕示氏略歴

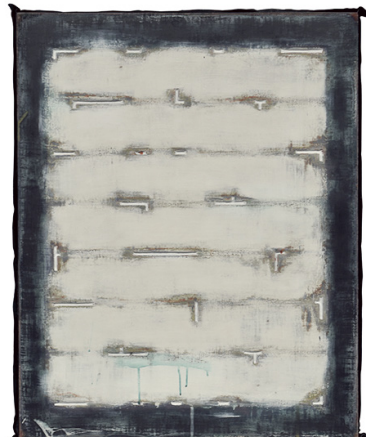
- 1952（昭和27）現在の和歌山県御坊市に生まれる
- 1971（昭和46）和歌山県立日高高等学校を卒業
- 1976（昭和51）多摩美術大学絵画科油画専攻を卒業
- 1977（昭和52）初個展（南画廊、東京）以後多くの個展、企画展で活躍
- 1980（昭和55）ニューヨークに滞在
- 1990（平成2）和歌山県文化奨励賞を受賞
- 1995（平成7）野田裕示近作展（和歌山県立近代美術館）開催
- 2001（平成13）芸術選奨文部科学大臣新人賞、御坊市文化賞を受賞
- 2003（平成15）多摩美術大学絵画学科油画専攻教授に就任
- 2012（平成24）野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿（国立新美術館）開催
- 2014（平成26）和歌山県文化賞を受賞
- 2019（令和元）多摩美術大学退職記念 野田裕示「外のちから」展（多摩美術大学美術館）開催
- 2020（令和2）多摩美術大学を定年退職、名誉教授となる



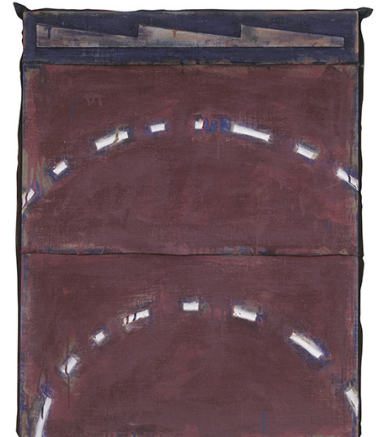
主な出品作品 図版のトリミング、文字のせは禁止しております。



2. 野田裕示《WORK 283》
1986(昭和61)
アクリル、木、カンヴァス
162.1×112.1cm 個人蔵



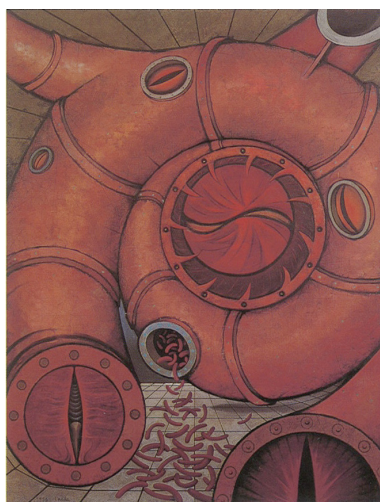
3. 野田裕示《WORK 561》
1989(平成元)
アクリル、カンヴァス
90.9×72.7cm 個人蔵



4. 野田裕示《WORK 472》
1988(昭和63)
アクリル、木、カンヴァス
116.7×90.9cm 個人蔵



5. 堀浩哉《波光 - 4》1994(平成6)
アクリル、墨、和紙、カンヴァス
91.0×65.2cm
田中恒子氏寄贈 当館蔵



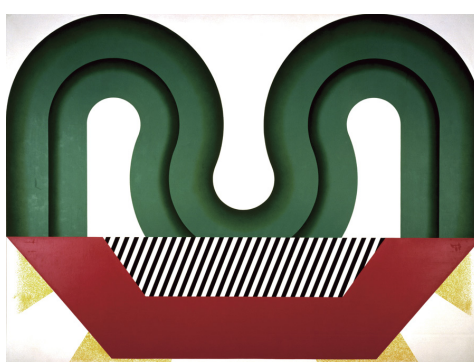
6. 池田龍雄《規格品》
1956(昭和31) 油彩、カンヴァス
162.1×112.1cm 当館蔵



7. 宇佐美圭司《夜明けの3時に》
1964(昭和39)
油彩、カンヴァス
185.0×135.0cm 個人蔵



8. 河内成幸《亀裂(XII)》1986(昭和61)
木版、紙 91.3×162.5cm
和歌山版画ビエンナーレ展実行委員会
寄贈 当館蔵



9. 菅井汲
《Soleil Vert[緑の太陽]》
1968(昭和43)
油彩、カンヴァス
244.8×330.0cm
当館蔵

出品作家

作家名アルファベット順

ロジャー・アックリング／齋藤重男／有本弘／堂本尚郎／榎倉康二／サム・フランシス／堀浩哉／池田龍雄／井上雅之／ジャスパール・ジョーンズ／開発好明／加納光於／河内成幸／木村秀樹／北山善夫／小泉俊己／李禹煥／三木富雄／三島喜美代／宮崎豊治／中村一美／中村錦平／中西夏之／難波田龍起／奈良美智／イサム・ノグチ／岡本敦生／菅井汲／杉本博司／篠原有司男／高松次郎／瀧口修造／建畠覚造／辰野登恵子／土谷武／宇佐美圭司／若林奮／アンディ・ウォーホル／山田正亮／山口長男／柳澤暁子／保田春彦／横尾忠則／吉澤美香

開催概要

- 会期** 2021(令和3)年7月17日(土)～9月26日(日)
- 会場** 和歌山県立近代美術館 1階展示室A
- 開館時間** 9時30分～17時(入場は16時30分まで)
- 休館日** 月曜日(ただし、8月2日、8月9日、9月20日は開館し、8月10日、9月21日は休館)
*7月31日(土)、8月1日(日)は「紀の国わかやま総文2021 美術・工芸部門」関連行事開催のため、一般の方の入場を制限する場合があります。事前にHP等でご確認ください。
- 観覧料** 一般：520(410)円 大学生：300(260)円
*()内は20名以上の団体料金
*コレクション展2021-夏と共通
*高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料
*毎月第4土曜日(7月24日、8月28日、9月25日)は「紀陽文化財団の日」として、大学生無料
*毎月第1日曜日(8月1日、9月5日)は無料
- 主催** 和歌山県立近代美術館

関連事業

新型コロナウイルス感染症の流行状況により変更する場合がございます。

ホームページなどでお知らせいたしますので、参加の際にはご確認をお願いします。

▶フロアレクチャー（学芸員による展示解説）

7月17日（土）、8月2日（月）、21日（土）、9月4日（土）、5日（日） 14:00～15:00

*展示室にて、要観覧券

▶こども美術館部（小学生を対象とした作品鑑賞会）「あれこれどれそれ」

9月4日（土）、5日（日） 11:00～12:00

【要予約】8月17日（火）9:30～

同時期に開催の展覧会

▶コレクション展 2021-夏：7月17日（土）～9月26日（日）

「コレクション展 2021-夏」では、神中糸子や川口軌外、保田龍門ら和歌山ゆかりの芸術家たちの作品にマーク・ロスコら現代の美術を交えて近代以降の美術の流れを紹介。あわせてお楽しみください。

▶企画展「もうひとつの世界」：6月8日（火）～7月18日（日）

▶企画展「コミュニケーションの部屋」：8月15日（日）～10月10日（日）

【和歌山県立博物館の展覧会】

▶夏休み企画展「かたちのいみ えがかれたものがたり」：7月17日（土）～8月22日（日）

▶企画展「きのくにの宗教美術－神仏のさまざまな姿－」：8月28日（土）～10月3日（日）

【和歌山市立博物館の展覧会】

▶企画展「アッと驚く意外な歴史－君も歴史博士になれる－」：7月17日（土）～9月5日（日）

*

*

*

*

*

▶紀の国わかやま総文2021 美術・工芸部門：7月31日（土）～8月4日（水）

芸術に親しもう！おでかけ美術館 第3回 紀北地方：野田裕示展

Museum on a Trip #03: Noda Hiroji

会場 橋本市教育文化会館 第4展示室

会期 2021（令和3）年10月1日（金）～10月24日（日）

開館時間 9:00～17:00（入場は16:30まで）

*水・金曜日（1日、6日、8日、13日、15日、20日、22日）は22:00まで

*最終日24日（日）は14:00まで

休館日 月曜日

和歌山県立近代美術館

学芸担当：奥村 泰彦 広報担当：中川、角

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14

T E L : 073-436-8690

F A X : 073-436-1337

E-MAIL : moma_w@future.ocn.ne.jp

W E B : <https://www.momaw.jp>